

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-69856

(P2006-69856A)

(43) 公開日 平成18年3月16日(2006.3.16)

(51) Int. Cl.

C01B 21/082 (2006.01)

F1

C01B 21/082

K

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 6 OL (全 15 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2004-256438 (P2004-256438)</p> <p>(22) 出願日 平成16年9月3日 (2004.9.3)</p> <p>特許法第30条第1項適用申請有り 2004年3月28日 社団法人応用物理学学会発行の「2004年(平成16年)春季 第51回 応用物理学関係連合講演会講演予稿集 第2分冊」に発表</p> <p>特許法第30条第1項適用申請有り 2004年7月27日 財団法人産業創造研究所発行の「MICROWAVE2004 マイクロ波効果・応用国際シンポジウム講演要旨集」に発表</p>	<p>(71) 出願人 599035627 学校法人加計学園 岡山県岡山市理大町1-1</p> <p>(71) 出願人 500036831 アリオス株式会社 東京都昭島市武蔵野三丁目2番20号</p> <p>(74) 代理人 100107917 弁理士 笠原 英俊</p> <p>(74) 代理人 100088993 弁理士 板野 嘉男</p> <p>(72) 発明者 財部 健一 岡山県岡山市理大町1-1 岡山理科大学 理学研究科材質理学専攻内</p>
---	---

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 窒化炭素の製造方法

(57) 【要約】

【課題】 窒化炭素以外のマトリックス中に担持された状態ではない粉体(粉末)の窒化炭素(即ち、粉体を構成する1の粉の全体が炭化窒素により形成されるもの)の製造方法を提供する。

【解決手段】 窒素ガスに所定のマイクロ波を放射して発生させた窒素プラズマに、炭素を含有する炭素含有材を接触させることを特徴とする、炭化窒素の製造方法である。窒素プラズマ中にて前記炭素含有材の表面から火花放電を生じさせるものであってもよい。前記窒素プラズマを発生させる前に、アルゴンガスに所定のマイクロ波を放射してアルゴンプラズマを発生させ、該アルゴンガスを前記窒素ガスに置換することで前記窒素プラズマを発生させるものであってもよい。

【選択図】 図1

